

ビジョンを与える責任

概観

目的:

なぜビジョンを持って導くことがミニストリーにとって重要なのかを理解し、ビジョン自体とビジョンの伝達は別であることを学びます。ビジョン・キャスティングの4つの原則を認識します。また、他の人と共有できるビジョン・メッセージを書き、フィードバックを受けます。

着目点:

広報係はみなに共通する望ましい将来を絵のように描き出す。聞き手がミッションに参加するように感情に訴える言葉を用いる。

主なスライド:

- # 2 ビジョン・ビジョン伝達の定義
- # 3-5 力強いビジョンを作り出す
- # 7 ビジョン伝達の4原則
- # 8 ビジョンを書き出し、フィードバックを受ける

準備:

時間が許せば、以下のオプションを加えることを検討してください:

* グループでネヘミヤ記1章と2章を読む時間を数分とる。小グループで話し合う: ネヘミヤのビジョンは何でしたか。なぜ説得力があったのでしょうか。

* キング牧師の「私には夢がある」のビデオを見て、話し合う: キング牧師のビジョン・メッセージには、どのような力強い要素がありますか?

* 各自が短いビジョン・メッセージ分かち合いをした後で、そのメッセージを15分や30分のメッセージにする場合何を加えるかを考えてもらってもよい。追加する内容の例: 心の底から感動するようなストーリーを考えよう。時間が許せば、一人一人に数分間、自分のベストストーリーを考えてもらいます。そして、それをお互いに分かち合い、改善点や励ましのフィードバックをもらいましょう。

その他リソース:

記事「[ビジョンを捕らえ、育み投げかける](#)」

記事「[リーダーは画家](#)」

記事「[ビジョン主導の変化](#)」

ネヘミヤ記1-2章

キング牧師演説「[私には夢がある](#)」(YouTube動画)

(以下は[LFの役割「広報」](#)にある)

Paul Eshelman videos on Spokesperson and "Example" of Spokesperson

ポールエッシャーマンの記事「[広報係について](#)」
「効果的なパートナーシップのかぎ」